



さちが丘小学校 学校だより

# 若竹

12月号

令和5年11月30日  
横浜市立さちが丘小学校  
校長 高浜 正太郎  
TEL.361-0777 FAX.361-0787

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sachigaoka/>

## 実りの秋を迎えて

校長 高浜 正太郎

ようやく秋も深まり、日に日に寒さが増してまいりました。今年も2年生の子どもたちが、保護者の皆様にご協力いただきながらサツマイモの収穫を無事終えることができました。地域にお住まいの新堀様より長らくお借りしている畑での地産地消の推進活動であり、PTA会長の杉山様をはじめ、ボランティアとして保護者の皆様には畑の整備をお手伝いいただきました。大きくて丸いサツマイモがたくさん収穫でき、2年生の子どもたちは各家庭に1本ずつ持ち帰り、残りのサツマイモは20日(月)の給食に「大学芋」として全校児童に提供されました。

苗植えや雑草抜きなど、自分たちで一生懸命育てたサツマイモを収穫している子どもたちの様子を見てみると、「どこまで根は続くのだろうか?」という疑問から、どの子も興味深そうに土を掘っている姿が印象的でした。給食の食材として提供されたことも、子どもたちにとってはよい思い出になったと思います。他にも育てていたトウモロコシが豊作となり、クラスごとにポップコーンパーティーを家庭科室にて開催して、たくさんのポップコーンを担任が作り、塩味やカレー味、キャラメル味など様々な味を楽しみながら食べていました。2年生の子どもたちにとっては、まさに「実りの秋」を実感したことでしょう。

その他にも、個別支援級は畑を使用して夏野菜と冬野菜を育てたり、5年生は花壇を使用して米作りをしたりと、本校では栽培活動という体験的な学習を通してより豊かな学びが得られるように努めています。

また、以前お知らせしたように、11月には日頃お世話になっている地域の皆様をお招きして感謝の気持ちを表すとともに、本校55周年を全校児童で祝う「感謝集会」と、保護者の皆様とともに55周年を祝う「さち小バースデイ集会」を学級ごとに開催いたしました。

感謝集会では、代表児童から地域の皆様に手作りカレンダーを渡して、お礼の言葉をいただきました。本校の55周年をとともに祝うことができ、地域の中にある学校として身近に感じていただく機会となりました。学級ごとの集会活動では、コロナ禍の3年間を経て、学級の子どもたちと保護者の皆様がレクレーションを通して交流を深めることができ、授業参観では見る事ができないお子さんの成長を知る機会となったようです。

ここで、保護者の皆様からのご感想をいくつか挙げさせていただきます。

- ・子どもたちの歌声を聴く機会が久しぶりだった。柔らかいきれいな歌声が聴けてよかった。
- ・学校で親と子がふれ合い、交流する機会があまりなかったから、楽しい時間を過ごせた。
- ・親同士が交流を深める機会となってよかった。
- ・子どもたちの成長を実感するとともに、今後成長してほしい部分を見るよい機会となった。
- ・親子レクを通して楽しい時間を過ごせたことが、55周年のよい思い出になった。

ご多用の中、ご出席いただきました地域や保護者の皆様には、心より感謝申し上げます。

明日より師走となりますが、「さち小マラソン大会」が12月5日(火)～7日(木)に予定されており、休み時間には持久走を行って練習を積み重ねています。ただ心配なこととして、先週よりインフルエンザや発熱等症状による欠席数が学校全体で急増傾向にあります。学校ではこまめな換気やうがい・手洗いの声かけをしていますが、各ご家庭におかれましてもお子さんの体調管理や毎朝の健康観察を引き続きよろしくお願いいたします。